



東京教区災害対応チーム お知らせ

NUMBER
019

【 満6年 祈りの時 】

東日本大震災で、私たちは自然の恵みの中で生かされていること、そして、人間は自然の猛威を前にいかに無力かを改めて思わされました。また、原子力発電所事故により、人間の経済的欲求が自然の恵みを破壊してしまう人災の側面があることも知りました。

東京電力福島原子力発電所事故では、避難解除地域への帰還を巡って避難者の方のさまざまな混乱や葛藤を耳にします。福島県から避難し東京で仕事している方が次のように話してくださいました。

「・・・各地で避難生徒へのいじめ問題が報道されていますが、今に始まったことではなく2011年から起きていることなのです。本人や家族は、“いじめ”だけでなく沢山の精神的な苦しみに耐えているのが実情なのです。よく東京の方から何の支援が欲しいかと聞かれて答えに窮してしまいます。被災者が抱える問題がそれぞれ違うからです。でも、敢えて言うならば、支援のお気持ちのある方には、ご自身の家庭や近所で福島から避難する子どもをいじめるのは正しくないこと、身近に居る人の痛みを思いやることなどについて、是非語り合い考えてみて欲しいのです・・・」

熊本地震*はじめ、鳥取県中部の地震、台風水害、世界各地で多くの自然災害が起き、多くの人が痛みや不安のなかで、希望を見出せない人がたくさんいます。（*F B九州地震被災者支援室 日本聖公会九州教区 <http://www.facebook.com/koritsusasenai/>）

時の経過と共に報道の数も減り、過去のことになってしまったように思いがちです。たしかに物理的な復興、物質的な充足は進んでいるようにも見えます。しかし、次々と新たな困難、精神的な苦しみを抱えている方々が居ることを私たちは忘れてはなりません。どのように心を寄せていけるのか、今一度考えてみるのが大事なのではないのでしょうか。

ご案内

- ～6年目の祈り～ 3月11日（土）午後2時から 於：聖アンデレ主教座聖堂
 ・司式： 司祭 卓 志雄 <主催：聖アンデレ主教聖堂、災害対応チーム>
 ・お話し： 福澤 真紀子（聖マーガレット教会信徒）
- 「震災を体験して～いわきの青年のお話し」 3月12日（日）午後1時15分から
 ・聖マーガレット教会からご案内です。 於：聖マーガレット教会
 “6年前いわきで被災、今、大学生になった青年のお話しを聞かせていただきます。
 一緒に考えてみませんか。”
- この他にも各教会「大齋節中の祈りやプログラム」に、自然災害を憶えるものがあります。
 「3.11 祈りの集い」、「私たちがした事、できなかった事」、「福島原発その後」、「被災地の今」
- ご案内：ドキュメンタリー映画「新地町の漁師たち」 <http://songriver-p.com/shinchi-ryoshi>
 新地町は支援に訪れた方も多所です。そこでの漁業復興に葛藤する漁師の姿を追うドキュメンタリー映画です。昨夏から各地各所で自主上映され、映写会を開いた教会もありましたが、このたび3月11日（土）から24日（金）、ポレポレ東中野でロードショーされることになりました。被災後の生活や生業の復興とは何かを考える機会の一つになるのではないのでしょうか。
 ポレポレ東中野 <http://www.mm.jp.or.jp/pole2>